

米 国 訪 問 レ ポ ー ト

今回の旅行は、昨年の選挙以前からの米国
国務省の招待に応じたもので、旅程は十一月
末から暮れの二〇日迄約三週間、ワシントン
ニューヨーク・デンバー・サンフランシスコ
ロスアンジェルスと廻り、各地で、市民運動
団体、議会関係者、労組関係者、太陽エネル
ギー研究の人々と直接会い話しを聞いてき
た。市民運動のコモンコーズや、消費者運動
のコンシューマーズユニオンでは、資金とス
タッフが充実していること。調査研究を猛烈
にやっていること。米国らしくロビー活動で
議会に働きかけていることが目立った。議会
でも同様なことが言えて、NY選出の民主党
議員ワイズ氏の事務所
では、下院の場合一八
名、上院の場合選出州
の人口に応じて一八名
から四〇名の調査スタ
ッフをもつことができ
ると聞いた。その上議
会や委員会にも専属の
スタッフがいるのこの
と。立法権の強力な米
国の姿を見る思いがし
た。ところで議員の選
出母体だが、政治家に
は官僚や労組の出身者



は皆無に近く、その主役は寧ろ法律家だった。
労組と政治家の関係については、ロスでAFL
CIO（全米労働総同盟）の政治部門から
話を聞いてきた。それによると、原則として
候補者の政策への態度で最も利害が一致する
人を組合として推薦するのだそうで、結果的
には民主党議員が多いとのこと。彼らを当選
させる為に、組合員の選挙人登録を絶えず促
しているとも聞いた。その他、デンバーの太
陽エネルギー研究所では、かつての反公害運
動の旗手デニス・ヘイズ氏が所長になってい
ることを知り、感激したりもした。
詳しいことは、月刊社民連に掲載する予定です。